

# 提 言 書

— 令和7年度議会報告会を終えて —

栗山町議会

## はじめに

栗山町議会の議会報告会は、平成17年3月に宮城県本吉町（当時）に続き、全国2例目として開催して以来、今年で20年目を迎えました。

今年は、「議会の活動状況について」をテーマに、議員活動日数、議決の結果件数、賛否の公表を行った議件及び討論内容、各委員会の活動報告を資料として、町内13会場において開催し、176名の町民の参加がありました。

各委員会の活動報告においては、常任委員会の活動に加え、「栗山町議会議員の報酬に関する調査特別委員会」および「学校再編に関する調査特別委員会」の調査経過についても報告し、議会が取り組んでいる重要課題について説明を行いました。

報告会においては、数多くの意見が出され、これらの意見や要望については、議会から行政に対して提言するもの、常任委員会における所管事務調査に反映するもの、議員個々に取り上げるものなどにそれぞれ分類をいたしました。

この提言書は、議会内での討議を経てまとめたものであり、町民からの貴重な政策提案として、今後の行政運営の一助とされることを期待します。

令和8年3月26日

栗山町議会議長 鵜川和彦

## 諸課題に対する提言・要望

### □地域公共交通について

(議会の見解・提言)

町民の移動手段の確保について、道内各地での民間バス撤退ニュースなどを背景に、交通弱者である高齢者、児童、生徒にとって、強い関心事であることから、本年の報告会においても複数の会場から意見や要望が寄せられた。

町営バスにおいては、利便性の向上や効率性の観点からデマンドバスへの移行を進めているが、町民にとっては従前とは異なる新しい手法となることから、予約方法を含め、細部に渡る検証、改善を継続的に進め、町民の満足度を高める取り組みを継続されたい。

また、ライドシェアの導入や、他自治体との共同運行など、課題解決のための新たな取り組みを進めるべきという意見もあったことから、町民からの政策提案ととらえ、その有効性や問題点の研究などを進められたい。

(報告会における町民からの発言)

- ・デマンドバスについて、玄関先乗降の導入や便数の増便、朝1番便の当日予約の実現等、利便性を向上してほしい。
- ・ライドシェア導入についての可能性は。
- ・町営バスについて、土日運行してほしい。
- ・コスト減や利便性向上に向けた他自治体との共同運行を検討してほしい。

### □防災や災害対応について

(議会の見解・提言)

防災や災害対応について、様々な地域において地域特性に応じた課題についての意見が寄せられた。学校統合に伴う指定避難所の確保については統合に伴う課題としてとらえ、地域住民との課題の共有や、解決に向けた説明責任を果たされたい。

また、災害時の避難経路の確保についても要望が寄せられた。地域によって起こり得る災害の特性が異なることから、地域特有の不安事の把握に努め、その解消へ向けた施策の検討を進められたい。

(報告会における町民からの発言)

- ・角田小学校、継立小学校の閉校に伴って跡地活用の進捗にもよるが、避難所がなくなるのではという心配がある。
- ・錦地区では大きな川と線路に挟まれ、水害時の避難に対する不安が大きい。独自の避難所の設置他、簡易に線路を渡れる仕組み等の対応ができないか。

栗山町議会